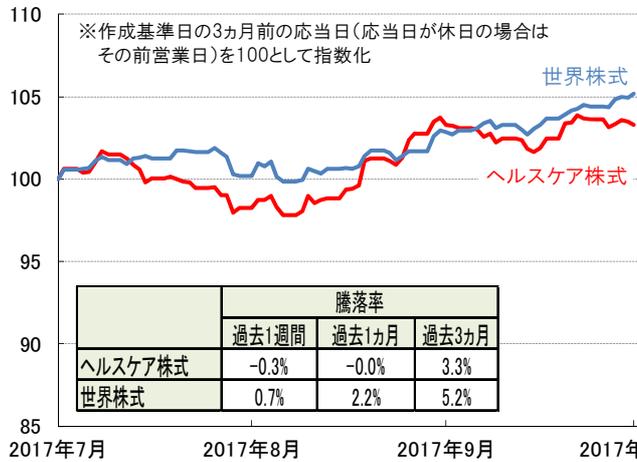


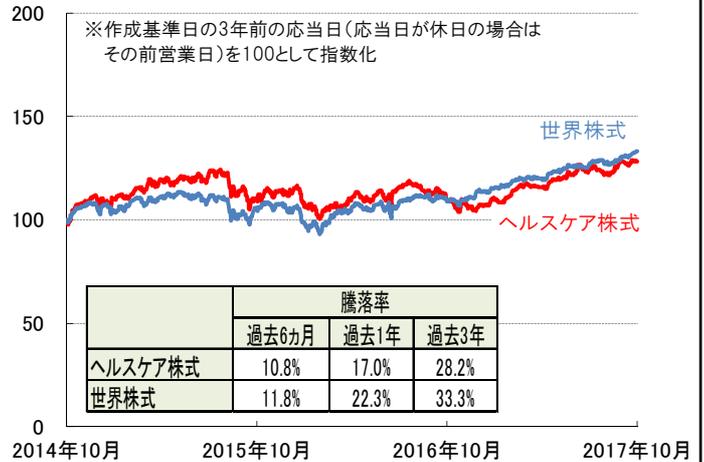
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	騰落率
中外製薬	10.2%
シアトル・ジェネティクス	9.5%
久光製薬	5.4%
ソニック・ヘルスケア	4.7%
ラムゼー・ヘルスケア	4.6%

	ワールド	ヘルスケア	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益
1株当たり利益成長率(年率、%) 実績→3期先予想	19.6	19.0	161.3	48.4	20.4	13.6	12.6	15.2	21.9	22.4	13.1
今期予想PER(倍)	17.9	17.8	27.0	17.2	18.1	17.6	20.6	14.2	19.9	14.6	16.7
3期先予想PER(倍)	14.9	15.1	18.2	15.1	15.6	14.5	17.4	11.7	16.4	12.5	15.5

(出所)Bloomberg

*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

■マーケット・コメント

・先週(2017/10/9~2017/10/13)は、世界株式は上昇した一方、ヘルスケア株式は下落しました。世界株式は、良好な経済指標が発表されたことや、一部企業の業績見通しの引き上げなどを好感したことなどを背景に上昇しました。セクター別では、生活必需品や公益事業などが上昇しました。
 ・ヘルスケア株式は、ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスなどのセクターが下落しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック

「トランプ米大統領、オバマケアを骨抜きにする大統領令に署名」

12日、トランプ大統領はオバマケアの見直しが議会で滞っていることから、自らの権限でオバマケアを骨抜きにする大統領令に署名し、オバマケアで支給されている補助金などの停止や、医療保険制度の規制緩和を発表しました。しかし、補助金停止により保険料の上昇が懸念されるほか、規制緩和については、州をまたいで保険を購入したり、短期保険プランを保険会社が販売できるようにすることによってより安価な保険の購入を可能にするを目標としています。実際には、より医療保険を必要とする人々の保険料が今後、上昇するとの見方もあり、米国病院協会などの団体に加え、州の保険当局、民主党も批判的な見解を示しています。(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、世界株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれも税引き後配当込み、トータルリターン(米ドルベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。
 「ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。
 「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス(米ドル建て)及びMSCI ワールド・業種別・インデックス(米ドル建て)の1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。
 ※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

●MSCI ワールド・インデックス及びその業種別・インデックス(出所:MSCI)。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

上記はあくまで過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。また、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。